

## スプリンクラー等施設整備事業計画書及び添付書類の作成要領

### 1 (提出書類2) スプリンクラー等施設整備事業計画書について

#### 【様式2-1 (個表) スプリンクラー (個別計画書)】

##### (1) 「施設の種別」欄

- ・「有床診療所」、「病院」、「有床歯科診療所」、「助産所(入所施設を有する)」のいずれかを選択してください。

##### (2) 「団体名(開設者)」欄

- ・開設者が個人の施設については開設者の氏名のみを、開設者が法人の施設については開設者の法人名のみ(例：医療法人〇〇会)を記入してください。

##### (2) 「施設名」欄

- ・診療所、病院等の名称を記入してください。(例：〇〇医院)

##### (4) 「所在地」欄

- ・施設(診療所、病院等)の所在地を大分県から記入してください。  
(例：大分県大分市大手町3-1-1)

##### (5) 「整備事業期間」欄

###### ① 「補助対象部門に係る当該年度予定事業」欄

着工日は交付決定日(過去交付決定日：R4.10.7、R3.9.7、今年度は1ヶ月程度早まる可能性あり)以降、竣工日は令和7年3月31日以前の日付を記入してください。

###### ② 「全体事業」欄

原則、「補助対象部門に係る当該年度予定事業」と同じ日付となりますが、例えば、補助対象外部分(介護保険施設や住宅など)も併せてスプリンクラーを整備する工事計画の場合は、当該工事全体の工事期間を記入して下さい。

##### (6) 「許可病床数」欄

- ・施設の許可病床数を記入して下さい。

##### (7) 「施設名(棟名)」欄

- ・スプリンクラーを整備する建物の棟名を記入して下さい。(例：診療棟)

なお、敷地内に建物が1つしかない施設の場合は、施設名を記入してください。（例：〇〇医院）

- ・複数の建物にスプリンクラーを整備する場合には、行を分けて記入してください。

(8) 「整備するスプリンクラー等」欄

①「整備内容（種別）」以下の該当する内容を選択します。

1. 通常型スプリンクラー
2. 水道連結型スプリンクラー
3. パッケージ型自動消火設備
4. 消防法施行令第32条適用設備

②「消火ポンプユニット」の有無を選択します。

③「整備面積(m<sup>2</sup>)」欄

「様式3施設面積内訳」のシートを入力することで自動集計されます。

④「対象経費の実支出予定額」欄

- ・工事見積書の金額（消費税込み）を円単位で記入してください。

⑤「病床数（床）」欄

- ・整備面積（m<sup>2</sup>）の範囲にある許可病床数を記入してください。

(9) 「延べ床面積（m<sup>2</sup>）」欄

自動集計されます。

【様式2-2（事業費内訳書）】

- ・記載例をもとに記載してください。

【様式3施設面積内訳】

- ・「室名」ごとに「対象面積」、「対象外面積」を記入してください。

※有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業における「対象面積」は、「スプリンクラー設備等を設置する居室等の面積（スプリンクラー設備等の一部として設ける補助散水栓等の散水範囲を含む）」であり、「スプリンクラー設備等を設置する居室等」とは、「スプリンクラーヘッドが設けられている居室等を指し、スプリンクラーヘッドがない、又は配管のみを設ける廊下等は、上記補助散水栓等の散水範囲に含まれない場合は該当しない」。また、施設の一部に住宅、介護保険施設等の医療施設以外の部分がある場合は、当該部分は対象面積に含まない。

## 2 添付書類について

### (1) 整備図面

複数の事業を実施する場合には、スプリンクラー施設整備、自動火災報知設備整備ごとに整備図面を分けて紙及びデータで提出してください。

#### ア スプリンクラー施設整備

- ・スプリンクラーを整備する棟について、寸法入りの平面図（各室の用途（病室、診察室、事務室、トイレ等）及び補助対象設備（スプリンクラーヘッドの位置、補助散水栓の位置等）を明示したものを）を提出してください。スプリンクラーを設置しない階も含め、全ての階の図面を提出してください。
- ・スプリンクラー整備面積（補助対象面積）の範囲を、蛍光ペンで囲むなどして明示してください。
- ・複数の棟に整備する場合には、棟ごとに図面を分けて作成してください。
- ・A3サイズで紙及びデータで提出してください。

#### イ 自動火災報知設備整備

- ・自動火災報知設備を設置する施設について、寸法入りの平面図（各室の用途（病室、診察室、事務室、トイレ等）及び補助対象設備を明示したものを）を提出してください。自動火災報知設備を設置しない階も含め、全ての階の図面を提出してください。
- ・自動火災報知設備を設置する箇所を、蛍光ペンで囲むなどして明示してください。
- ・A3サイズで紙及びデータで提出してください。

### (2) 見積書（工事費の内訳が分かるもの）

- ・複数の事業を実施する場合には、スプリンクラー施設整備工事、自動火災報知設備整備工事ごとに見積書を分けて提出してください。
- ・見積書の日付が記入されたものを提出してください。
- ・設計その他工事に伴う事務に要する費用は、補助対象外ですので、見積書には記載しないでください。

### (3) スプリンクラー整備面積及び床面積の算出根拠資料

- ・各階のスプリンクラー整備面積（補助対象面積）及び床面積の算出根拠資料として、床面積の求積図、各室の床面積表などを紙及びデータで提出してください。

### 3 提出部数

各2部（県確認用及び国提出用）※ただし、担当者連絡先（様式1）は1部で可

### 4 提出方法

上記のすべての様式を紙提出及び電子メールでも提出してください。

電子メールの件名は、「令和6年度スプリンクラー等事業計画書(施設名)」としてください。

(提出先)

〒870-8501 大分県大分市大手町3-1-1

大分県福祉保健部医療政策課医務班(大分県庁舎)

電子メールアドレス: [a12620@pref.oita.lg.jp](mailto:a12620@pref.oita.lg.jp)